



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月13日

上場会社名 株式会社鴨川グランドホテル 上場取引所 東
 コード番号 9695 URL <http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 健史
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)四野宮 章 (TEL)04(7094)5581
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,921	△1.6	60	△24.1	29	△28.6	53	△43.9
26年3月期第2四半期	1,952	15.6	79	—	41	—	94	61.5

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	5.09	—
26年3月期第2四半期	9.08	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	6,563	848	12.9	23.81
26年3月期	6,473	770	11.9	16.34

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 848百万円 26年3月期 770百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,720	2.1	80	96.4	10	—	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	10,453,920株	26年3月期	10,453,920株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	19,309株	26年3月期	18,336株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	10,435,177株	26年3月期2Q	10,436,850株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税引き上げに伴う駆け込み需要の反動と急激な円安等により力強さに欠ける動きとなりましたが、政府や日銀による財政・金融政策の効果により企業収益や雇用情勢の改善も見られる等緩やかな回復基調が続きました。

リゾートホテル業界におきましては、海外旅行は円安の影響で厳しくなっておりますが、国内旅行は個人消費の堅調な動きに伴い回復しつつあります。しかしながら、太平洋沿岸地域においては地震への不安や放射能汚染等の風評被害は依然として残っております。

そのような状況の中で当社は、販売力の強化並びに収益力の回復を主要課題とし、主力ホテルである鴨川グランドホテルの風呂を大改装する中で新たな顧客層の発掘と拡大に取り組みました。また、ホテル西長門リゾートは引き続き販売手法とオペレーションの見直しにより改善しつつあり、ビジネスホテルもフランチャイズ加盟後の好調を維持しております。

その結果、当第2四半期累計期間は鴨川グランドホテルのリニューアル工事の影響等から営業収益は1,921百万円と前年同四半期と比べ30百万円（1.6%）の減収となり、営業利益60百万円（前年同四半期比24.1%減）、経常利益29百万円（前年同四半期比28.6%減）となりました。

また、四半期純利益につきましては、特別利益として東京電力株式会社による受取補償金を計上したことにより、四半期純利益は53百万円（前年同四半期比43.9%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ90百万円増加し、6,563百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ86百万円減少し、873百万円となりました。これは主に、現金及び預金が42百万円、受取手形及び売掛金が47百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ177百万円増加し、5,690百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が53百万円減少したものの、建物が155百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ7百万円減少し、4,971百万円となりました。これは主に、買掛金が41百万円増加したものの、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が50百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ20百万円増加し、743百万円となりました。これは主に、退職給付引当金が13百万円減少したものの、その他（長期未払金）が34百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ77百万円増加し、848百万円となりました。これは主に、四半期純利益53百万円の計上によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ42百万円減少し、544百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は270百万円（前年同四半期に比べ50百万円の減少）となりました。これは主に、税引前四半期純利益62百万円に、減価償却費126百万円の非資金損益項目を計上したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は262百万円（前年同四半期に比べ186百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産262百万円の取得による支出があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は50百万円（前年同四半期と同額）となりました。これは主に、借入金50百万円の返済による支出があったことによるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間における業績の進捗を勘案し、平成26年5月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。

詳細は、平成26年11月7日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更等

（退職給付に関する会計基準の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期累計期間の期首の退職給付引当金が15百万円減少し、利益剰余金が15百万円増加しております。なお、この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

（1）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	586,731	544,140
受取手形及び売掛金	183,422	135,851
たな卸資産	52,875	44,866
未収入金	67,976	75,060
その他	69,435	74,011
貸倒引当金	△253	△197
流動資産合計	960,188	873,732
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,224,527	12,269,304
減価償却累計額	△8,572,560	△8,461,909
建物（純額）	3,651,966	3,807,395
構築物	519,826	522,579
減価償却累計額	△469,929	△470,032
構築物（純額）	49,897	52,546
機械及び装置	228,129	229,883
減価償却累計額	△203,479	△186,750
機械及び装置（純額）	24,650	43,133
車両運搬具	35,169	28,656
減価償却累計額	△30,434	△25,606
車両運搬具（純額）	4,735	3,050
工具、器具及び備品	847,699	853,470
減価償却累計額	△768,608	△766,835
工具、器具及び備品（純額）	79,091	86,635
土地	1,086,529	1,086,529
リース資産	66,640	91,586
減価償却累計額	△51,507	△55,309
リース資産（純額）	15,133	36,277
建設仮勘定	53,108	-
有形固定資産合計	4,965,112	5,115,567
無形固定資産	31,516	41,277
投資その他の資産		
投資有価証券	110,231	123,986
差入保証金	240,072	240,078
保険積立金	143,150	143,150
その他	30,026	39,421
貸倒引当金	△7,004	△13,342
投資その他の資産合計	516,475	533,293
固定資産合計	5,513,105	5,690,138
資産合計	6,473,293	6,563,871

（単位：千円）

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	76,192	118,175
短期借入金	3,879,325	3,860,387
1年内返済予定の長期借入金	614,942	583,871
未払金	9,745	23,991
未払費用	199,714	216,903
未払法人税等	16,275	14,676
未払消費税等	18,663	15,862
賞与引当金	27,306	27,299
その他	136,843	110,417
流動負債合計	4,979,008	4,971,584
固定負債		
繰延税金負債	9,940	14,263
退職給付引当金	150,239	136,327
役員退職慰労引当金	17,791	17,791
長期預り保証金	534,872	530,022
その他	10,880	45,451
固定負債合計	723,723	743,856
負債合計	5,702,732	5,715,441
純資産の部		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	498,588	498,588
利益剰余金	△371,836	△302,866
自己株式	△3,977	△4,224
株主資本合計	749,534	818,258
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	21,026	30,171
評価・換算差額等合計	21,026	30,171
純資産合計	770,561	848,430
負債純資産合計	6,473,293	6,563,871

（2）四半期損益計算書

第2四半期累計期間

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）
営業収益	1,952,133	1,921,736
営業費用	1,872,439	1,861,256
営業利益	79,693	60,480
営業外収益		
受取保険金	404	3,582
助成金収入	500	37
その他	8,785	11,856
営業外収益合計	9,690	15,476
営業外費用		
支払利息	47,556	46,285
その他	456	116
営業外費用合計	48,013	46,401
経常利益	41,370	29,554
特別利益		
受取補償金	67,010	71,637
特別利益合計	67,010	71,637
特別損失		
固定資産売却損	70	94
固定資産除却損	2,176	38,614
特別損失合計	2,247	38,708
税引前四半期純利益	106,133	62,483
法人税、住民税及び事業税	11,330	9,340
法人税等合計	11,330	9,340
四半期純利益	94,803	53,143

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）	当第2四半期累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	106,133	62,483
減価償却費	121,557	126,479
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△105	6,281
賞与引当金の増減額（△は減少）	22,423	△7
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△3,173	1,914
受取利息及び受取配当金	△877	△1,024
支払利息	47,556	46,285
受取補償金	△13,739	△71,637
固定資産除売却損益（△は益）	2,247	20,271
売上債権の増減額（△は増加）	7,739	41,234
たな卸資産の増減額（△は増加）	△3,803	8,009
前払費用の増減額（△は増加）	△5,227	△6,045
未収入金の増減額（△は増加）	91,186	64,552
仕入債務の増減額（△は減少）	31,767	41,982
未払金の増減額（△は減少）	△793	△859
未払費用の増減額（△は減少）	△2,859	17,294
未払消費税等の増減額（△は減少）	△716	△272
前受金の増減額（△は減少）	△18,867	△22,089
預り金の増減額（△は減少）	3,702	△5,659
預り保証金の増減額（△は減少）	△5,600	△4,850
その他	2,419	1,811
小計	380,970	326,155
利息及び配当金の受取額	602	860
利息の支払額	△52,858	△46,239
法人税等の支払額	△8,433	△10,568
営業活動によるキャッシュ・フロー	320,281	270,208
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△77,797	△262,532
固定資産の売却による収入	65	277
投資有価証券の取得による支出	△599	△599
投資有価証券の売却による収入	-	314
差入保証金の差入による支出	-	△6
差入保証金の回収による収入	79	-
その他の収入	2,366	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△75,886	△262,545
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△18,937	△18,937
長期借入金の返済による支出	△31,070	△31,070
自己株式の取得による支出	△32	△246
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,040	△50,254
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	194,353	△42,591
現金及び現金同等物の期首残高	550,583	586,731
現金及び現金同等物の四半期末残高	744,937	544,140

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	1,550,161	329,726	1,879,888	72,245	1,952,133	—	1,952,133
セグメント利益 又は損失（△）	79,830	33,417	113,248	△2,742	110,506	△30,812	79,693

（注）1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△30,812千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	1,541,981	312,215	1,854,197	67,539	1,921,736	—	1,921,736
セグメント利益 又は損失（△）	77,744	17,948	95,693	△3,346	92,346	△31,866	60,480

（注）1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント損失の調整額△31,866千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。